

令和3年度 第2回 京田辺市社会教育委員会議
会議要旨

1 開会

事務局進行

2 委員長あいさつ

3 副市長あいさつ

4 教育長あいさつ

5 講演

「社会教育と社会教育委員について」

講師 京都府山城教育局 総括社会教育主事 藤井 正和 氏

6 議事

(1) 令和3年度 京都府社会教育研究大会 参加報告

大会参加委員より報告 資料1

(2) 第3次京田辺市生涯学習推進基本計画（素案）について

事務局より説明 資料2

(3) 複合型公共施設について

担当課（都市みらい室）より説明 資料3

（委員） 対象となる場所の地権者は、この計画について把握しているのか。

（事務局） 地権者の役員会等で説明している。

（委員） 役員会というのは区画整理組合の役員だけか。

（事務局） そうです。施設の具体的な内容については、決まっていない。

（委員） 具体的な内容はいつ決まるのか。

（事務局） 概要を示すとしても半年あるいは1年は必要と考えている。

（委員） 組合の役員と行政とは情報交換を密に行っているか。

（事務局） 組合に対して必要に応じ説明している。

（委員） その中で、色々な質問やクレームはないか。

（事務局） 施設については興味を示されるが、クレームや直接の意見はない。

- (委員) 地権者の反対があった場合に、調整等は組合もしくは市が行うのか。
- (事務局) 施設についての反対は、市にて説明を行い、ご理解をいただく。区画整理についての反対は、市が土地を取得したいということだけが対象となるので、その部分については十分調整を図りたいと考えている。
- (委員) 事業については、地権者や組合の了解を十分にとって進めてもらいたい。
- (委員) 文化ホール等という説明があったが、現在の中央公民館との関係についてはどうなっているか。
- (事務局) 現在の中央公民館は、社会教育法や条例に基づいているが、新施設については、同様に公民館として位置づけるのか、別の形にするのかといった検討が必要になる。併せて、今後の公民館のあり方についても検討していきたいと考えている。
- (委員) 建築までの期間はどのくらいか。
- (事務局) 方針を決めるのはこの2、3年と考えている。その後、設計、建築工事とあるので、トータルで考えると10年近くと考えている。
- (委員) 複合型の総合施設であるので、生涯学習や男女共同参画の機能などが考えられ、様々な立場から選出された協議会といった場で検討し、設計に反映させていくことが順序ではないか。例えば、宿泊施設など色々な意見があると思う。文化ホールだけであればもったいない。他市の施設も参考に、もっと広い意見を聞くべきだと思う。
- (事務局) 現在、市には文化ホールがないので、まずその関係団体から意見を聞いたが、図書館に関しても意見を聞いたところであり、これから様々な立場の意見を聞きたいと考えている。整備対象となる市街地については行政施設の他、商業、宿泊、文化、福祉といったまちの中心に備えるべき機能について区画整理の中で積極的に誘致を図っていきたいと考えている。
- (委員) 現在活動されている方にヒアリングしても10年後のニーズはわかりにくい。若い人たちの意見も必要であり、例えば、生涯学習で学んだことを活かす、発表する場などが必要と言われたら、そういう施設も検討していかなければならない。
- (事務局) 発表の場など、施設の活用方法についても、将来の世代も含めて意見を聞き検討していきたい。

(委員) スケジュールでは、令和4年度から基本計画を立てるということであるが、その際には、何か組織をつくるのか？

(事務局) その予定である。

(委員) 組織では色々な方に出席していただいて、パブリックコメントも実施されるのか？

(事務局) その予定である。

7 その他

事務局より令和3年度山城地方社会教育委員連絡協議会研修会について説明

8 閉会

副委員長より閉会のあいさつ